



立て心よ 行け私よ

No.14

文責:齊藤 正一

令和4年度 墨中CS運営委員の皆様による学校評価

墨中コミュニティスクール運営委員会(略称、墨中CS)の委員の皆様、学校便り等の資料をもとに学校外部評価をしていただきましたのでご一読下さい。

1 めざす生徒の姿に関わって

(1)「主体的に学習に取り組み、粘り強く追究できる生徒」

- ・生徒の授業、学習に取り組む姿勢
- ・教師の指導・支援の在り方
- ・学力向上のための仕組みの在り方。

・学校評価アンケート結果からみても、生徒の授業や学習に取り組む姿勢はよかったのではないのでしょうか。アドバンスタイムや学習ボランティアなど、先生の指導や地域の支援などがありよかったです。学力向上については、ICTを活用した学習も素晴らしく、さらに幅広い活用にも期待できました。

・授業を参観させていただきましたが、生徒は主体的に学習に取り組み先生方は教え方を工夫されていました。高校でも参考にさせていただきます。

・たいへんよいです。

・教員と生徒との距離が近いように感じられ、たいへんよいと思います。ただ勉強が好きな子は放っておいてもやりますので、苦手な子が一歩でも前に進めるような仕組みがほしい。

・学習支援をしていると、前向きに取り組む生徒が増えていると感じる。自分から求めて参加しているので、質問をする生徒も例年より多い。担当の先生も、打ち合わせや運営をととても丁寧にやってくれるので、ボランティアとしてはやりやすい。学習の場を用意しようという、先生の思いに伝えられる生徒たちなのだと思う。

生徒の学習に取り組む姿勢について、高い評価をいただくことができました。ICT機器の活用、学習支援ボランティアのみなさんとの連携を進め、生徒たちがさらに意欲をもって取り組めるようにして参ります。

1 めざす生徒の姿に関わって

(2)「心も体もたくましく、賢く誠実に生活できる生徒」

- ・あいさつ、マナー等、生徒の姿
- ・教師の指導・支援、関わり方等

・PTAで学校に行ったとき、元気よくあいさつしてくれたことから、生徒たちの日頃の学校生活の誠実さを感じました。これも先生方の指導・支援のおかげだと思います。引き続きよろしくお願いします。

・校内を歩いているとみなさんあいさつをしてくださいます。「気持のよい生徒」という印象をもっています。

・たいへんよいです。

・グランドデザイン作成となるとこうなるのでしょうか。理想像ですね、生徒一人ひとりに寄り添った指導・支援・関わり等となると、もっと理想を追うことになるのでしょうか。

・学校に伺った際には、生徒が「こんにちは」と元気よくあいさつをしてくれます。とても気持ちのよいあいさつです。

運営委員の皆様、実際に本校に足を運んでいただき、生徒の姿から評価していただくことができよかったです。特に、生徒のあいさつについて、高い評価をいただきました。あいさつ以外の生活のルールやマ

ナーについても、さらなる向上を目指して指導・支援をして参ります。

1 めざす生徒の姿に関わって

(3)「自分を厳しくみつめ、他を思いやり、共育ちできる生徒」

・協働的に学び合う生徒と教師の指導・支援 ・生徒会活動、部活動、墨坂祭等

- ・墨坂祭を見させていただき、生徒たちが力を合わせて素晴らしいものを作り上げたな、と思いました。まさに「共育ち」の結果ではないではないでしょうか。生徒会活動、部活動ともにコロナ禍で制限される中、意欲的に取り組む姿は頼もしく思いました。
- ・体育の授業を見ていた際、みんなで助け合いながらバドミントンや卓球をしていました。また、先生も一緒に笑顔で競技をしていて、とてもよかったです。
- ・たいへんよいです。
- ・墨坂祭を見せていただき、中学生のエネルギーを実感しました。ありふれたことばですが、パワーをもらいました。
- ・今年の墨坂祭で、メセナホールで行われた音楽会を見学させていただきました。どの学級も個性があり楽しく聴くことができました。特に3年生の全体合唱の迫力や、1年〇組のハーモニーはとても素敵でした。素晴らしい音楽会にご招待いただきありがとうございました。
- ・中学生になると、子どもはあまり学校に来ないで、と言うようになる。コロナ禍で制限があったこともあり、今日の授業参観は久しぶりに、子どもたちの学ぶ姿を見る機会になった。保健体育のバドミントンで、先生も生徒も一緒になって、楽しそうに笑顔で取り組んでいた。すごくいいことだと思った。

墨坂祭という学校行事だけではなく、日頃の授業についても、コロナ禍にあっても力強く活動に取り組む生徒たちの姿をご評価いただきました。新年度は、新型コロナウイルス感染症の扱いも変わる見通しですが、生徒たちがさらに力強く活動できるように指導・支援を続けて参ります。

2 学校教育目標達成の手立てとして、本校で育成する教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成に関わって

・問題解決力「考えて、やりとげよう」 ・他者関係力「伝え合い、わかり合おう」
・自己更新力「よりよい自分を創り、自らを好きになろう」

- ・育成すべき資質・能力が明確にされており、各教科の特質を生かした指導がなされていると思う。そして、ICT機器を使用した家庭学習をさらに広げ、宿題・予習・復習を効率的にできるといいのかなと思います。
- ・授業参観をして、主体的な学びを重視されていると実感しました。
- ・たいへんよいです。
- ・今更ですが、教科等横断的な視点とは？教科からは少し離れても、先の3つの力を育てるために生徒を指導・育成していくということでしょうか。

育成すべき資質を明確にし、主体的に学べるように工夫していることについて、高い評価をいただくことができました。これからも、学校教育目標の具現のために、各教科学習を始めとするすべての教育活動において培っていく、めざす生徒の姿の基盤となる資質・能力として、「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」の3つを育成して参ります。

3 環境整備に関わって

・学校生活に関わって ・普通教室、特別教室、体育館等の施設 ・ICT機器の利活用について

- ・綺麗に清掃され、学業や部活動も気持ちよくなっていると思います。ICT機器の活用により、各家庭でも質のよい学習ができていると感じます。さらに幅広く活用できることと思います。
- ・電子黒板を活用し、わかりやすい授業をされていました。生徒さんも楽しそうでとてもよかったです。
- ・たいへんよいです。
- ・生徒数の減少で教室等が空いてきている。有効活用は？ ICTの利活用はもちろん、プログラムの授業も必要

になってくると思われる。

- ・冬の登下校でも、スカート姿の女子、コートを着ない生徒たちを見ると、あたたかくしてほしいと思う。親として子どもたちにも言うが、なかなか難しい。「寒くない」と言われてしまうが、寒くないわけがない。言い続けるしかないと思うが、とにかく、自分の体を大事にしてほしい。

清掃活動の充実、ICT 機器の充実について高い評価をいただきました。生徒数減少に伴って空き教室ができてきている点に関しては、今後は、生徒の少人数での学習等に利用していきたいと考えています。

4 学校評価アンケートに関わって

・学校評価生徒アンケート(学校だより No9) ・学校評価保護者アンケート(学校だよりNo.12)

- ・生徒アンケート、保護者アンケートともに素晴らしいと思います。家庭学習の質がさらに向上するといったのかなと思います、学校・各家庭それぞれで考えることも必要だと思いました。
- ・先生方お疲れ様です。健康にご留意ください。
- ・たいへんよいです。
- ・生徒評価は良好ですが、PTA 離れが現実となっている今、地域とのつながりさらに希薄になってくると思われる。
- ・生徒は概ね良い結果のように思われます。特に、命の大切さや仲間の大切さについては高い評価となっており、学校生活の中で先生方の教えがしっかり伝わっていることが素晴らしいと思います。保護者アンケートは生徒より辛めですが、学校の様子をきめ細かく伝えていることが評価されています。思春期の生徒だからこそ、学校だよりや学級だよりは保護者にとってはありがたいと思います。先生方は大変かと思いますが、無理のない範囲で構いませんので保護者に生徒の様子を伝えてあげてほしいと思います。
- ・教員のみなさんの努力やがんばっている姿が、保護者及び関係者以外にも伝わるとよいと思います。PR不足ですかね？

家庭と地域と学校の3者が、生徒たちのよりよい成長のために、連携していくことの大切さをご指摘いただきました。保護者の皆様、地域の皆様と連携していられるようにして参ります。まずは、学校だよりや学年だより、また、学校ホームページの充実を図り、学校からの情報発信を充実させていきたいと考えます。

ユニセフ募金とワックスがけ

JRC委員会では、ユニセフ募金を実施しました。昼の放送でみらいスクールステーションを効果的に使いながら、ユニセフがどのような組織であり、集まった募金がウクライナや地震のあったトルコ・シリアの子どもたちのためにも使われるという説明がありました。集まった9,524円は、みなさんの思いとともに、ユニセフに届けられました。

また、整美委員会によるワックスがけも実施されました。縦割り清掃期間の1週間をかけて全校で床をきれいにし、そのきれいになった床に、整美委員が居残り作業で、ワックスをかけました。ワックスがけの方法を伝授する3年生も、伝授される1・2年生もやりがいと誇りをもって活き活きと活動できました。おかげで、床がピカピカになりました。休み明けには、各教室で、だれに指示されるわけでもなく、自主的に、廊下に出してあった机などを室内に戻す姿が見られたようです。

今、生徒会では、来週行われる三年生を送る会の準備、リハーサルが行われています。感染症の拡大状況が落ち着いているおかげで、卒業式と同様に、全校が一堂に会しての三年生を送る会ができそうです。



中学生・高校生のみなさんへ
～ 不安や悩みを話してみよう ～

もうすぐ新年度を迎えますが、みなさんはどんな気持ちでしょうか。進路の問題で悩んだり、親子関係などの家庭内の問題、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。

みなさんだけでなく、誰にでも悩みや不安はあります。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族や先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰でもよいのであなたの悩みを話してみませんか。話を聞いてもらうだけでも、心がすっと軽くなることもあります。

周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口があります。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、生きていく上でとても大切なことです。以下で紹介している相談窓口では、いつでもあなたの悩みを聞いてくれる人がいます。

もし、あなたの周りに元気がない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、自分や友人が悩みや不安を抱えた時に相談できる機関として身近なところにどのようなところがあるのか調べてみましょう。

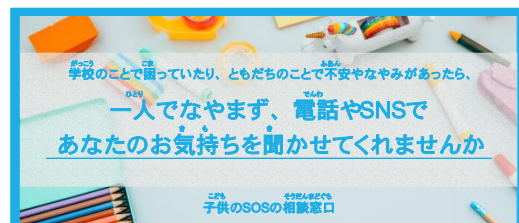
相談窓口の紹介動画



<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和5年2月
文部科学大臣 永岡 桂子